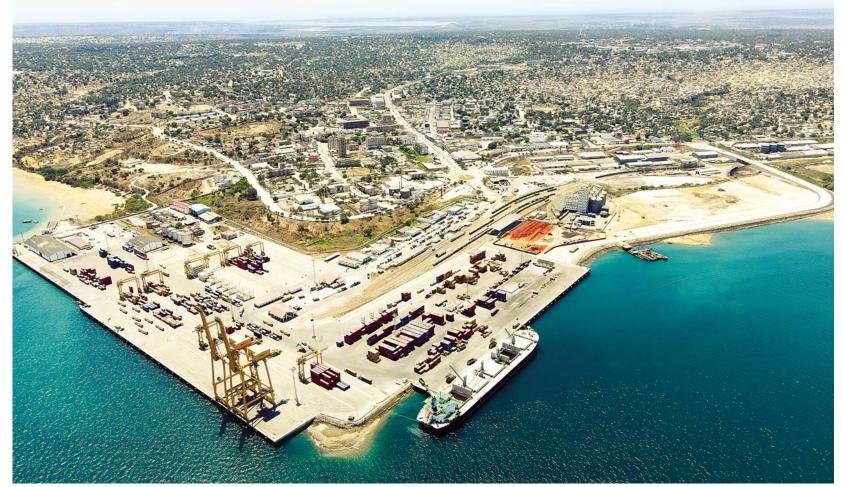
ナカラ回廊の玄関口を強化



ナカラ港の全景





ナカラ港開発 I・II 期工事(モザンビーク) **五洋建設、東亜建設工業**

アフリカ南東部に位置するモザンビークのナカラ港は、ナカラ回廊と呼ばれる同国北部から内陸諸国を結ぶ国際物流ルートの玄関口となっている。同港の機能強化を目的に五洋建設・東亜建設工業 J V が施工した「ナカラ港開発 I ・ II 期工事」では、既存港の増深・埋め立てによってコンテナ船専用ふ頭を含む港湾施設を再整備した。これにより同港の輸送能力が強化され、ナカラ回廊地域各国の発展と活性化に貢献している。

来のコンテナ取扱量の増加に対道路、ゲート、上下水道・電気コンテナヤードと港湾アクセス注の有償円借款プロジェクト。注の有償円借款プロジェクト。



港湾エントランス道路と鉄道ターミナル

既存岸壁の安定確保し増深

港の増深では新設岸壁を構築といる。 大型船舶が接岸できるようにし、その前面を浚渫することでたが、増深浚渫ののり面が接近である既設岸壁(重力式)の安定にたが、増深浚渫ののり面が接近であため、北端部の構造変更にたが、増深浚渫を引度である。 大型船舶が接岸壁前面に自立土のをといて要となっため、北端部の構造変更にたが、増深を選買することによって、数壁を設置することによった。 大型船舶が接岸壁が変には、汚染された一部の浚渫 大型船舶が接岸壁が水域によって、 大型船舶が接岸壁が水域によって、 大型船舶が接岸を構築である進水域関でといる。

利用した埋め立てによるヤード

ら)による港湾へのアクセス強

払張、汚染された浚渫土の処理

肔設などを建設した。

▷実施者=五洋建設、東亜建設工業

▷実施国=モザンビーク共和国

▷実施都市・地区=ナンプラ州ナカラ郡

○プロジェクト関係者=Ministry of Transport and Communications of Mozambique (発注者)、オリエンタルコンサルタンツグローバル(設計者)、エコー(同)、Edgar Cardoso Mo ¢ ambique(同)、PROMAN Centro de Estudos e Projectos (同)

▷実施期間=2018年7月-23年10月